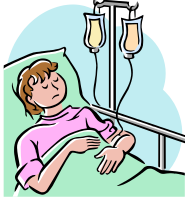


申し送りをする

申し送りはとても難しい業務の一つです。ですが、患者さんの様子を正確に伝えなければなりません。「情報整理」と「伝える表現」に気を付けて、わかりやすい申し送りを身につけましょう！



患者Aさん

- 201号室に入院
- 血圧は120台
- 精神が不安定で昨夜から家族を探している
- 投薬（座薬）が今日から始まる
- 便秘気味
- 今日の午後、家族が着替えを持ってくる
- 昨日の夜、発熱（39度）→今朝（37度）



これらの情報をどのように伝えますか？

ポイント1) 情報整理

1. 情報を4つのカテゴリーに分類しよう！
2. 詳しく話すときは結論を先に言おう！
3. 具体的な数字を使って伝えよう！

1. 情報を4つのカテゴリーに分類しよう！

患者さんの情報を思いついた順番で伝えても、とてもわかりづらいです。まず、情報を以下の4つのカテゴリーに分類しましょう。

申し送り情報の4つのカテゴリー

- a) 指定情報： 患者名、患者の部屋番号
- b) 処置情報： 次の勤務帯で行うべき投薬や点滴など処置に関する情報
- c) 個別情報： 家族、手術、精神状態など患者個別に伝えるべき情報
- d) 共通情報： バイタルサイン、便、尿、食事の様子など

★ 患者 A さんの情報を 4 つのカテゴリーに分類して () に上の a~d を記入してください。

・ 血圧は 120 台	→ ()
・ 精神が不安定で昨夜から家族を探している	→ ()
・ 投薬 (座薬) が今日から始まる	→ ()
・ 便秘気味	→ ()
・ 今日の午後、家族が着替えを持ってくる	→ ()
・ 昨日の夜、発熱 (39 度) →今朝 (37 度)	→ ()

2. 詳しく話すときは結論を先に言おう！

患者さんのある状態について、詳しく伝えたい場合があります。その場合は、まず結論を先に言ってから、詳しい説明を続けるようにしましょう。

患者 A さんの場合

・ 昨夜、10 時ごろ、A さんがナースステーションに来て、「最近娘が会いに来てくれない」と言っていた。だが、2 人の娘は交替でお見舞いに来ている。昨日は長女が来る予定だったが、長女の息子が熱を出したので、来られなかった。「娘は 2 人もいるのに誰に来てくれない」と興奮して怒っている様子だった。看護師が話を聞いていたら、落ち着いてきたらしく、部屋に戻って休んだようだった。今日は次女が来る予定だ。

★患者 A さんのエピソードをまとめてください。

- ① ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()

3. 具体的な数字を使って伝えよう！

患者さんの様子を伝える場合、熱や血圧など具体的な数値で説明できる場合は具体的な数値を挙げて説明しましょう。

★患者 A さんの例

・ 昨日の夜、発熱 (39 度) →今朝 (37 度)

悪い例： 昨夜、発熱がありましたが、今朝は下がって平熱になっていました。

良い例： 昨夜は発熱があつて 39 度だったんですけど、今朝は 37 度まで下がっています。

※バイタルサインに異常が見られず、通常通りである場合は「バイタルは異常ありません」のように数値を使わずに伝えることもできます。

ポイント2) 伝える表現

- I. 「～んですけど」を使って、以前の状態、その話のテーマをわかりやすくする。
- II. 情報のカテゴリーによって表現を使い分ける。

I. 「～んですけど」を使って、以前の状態、その話のテーマをわかりやすく伝える。

以前の状態と比較して現在の状態を伝えるときや、長い文でテーマを先に伝える時には「～んですけど」を使いましょう！

★患者 A さんの場合

以前の状態

昨日の夜、発熱（39度）→今朝（37度）

例： 昨夜は発熱があつて39度だったんですけど、今朝は37度まで下がっています。

話のテーマ

今日の午後、眼科を受診する予定。先生に紹介状をお願いしているが、まだ受け取っていない。

例： 今日の午後、眼科受診が16時なんですけど、先生がまだ紹介状を書かれていなくて、受け取っていません。

II. 情報のカテゴリーによって表現を使い分ける。

申し送る内容によって、使用する表現も異なります。

	1) 文と文の接続	2) 患者の状態を表す表現「～ている」
指定情報・共通情報	—	あまり多くない
処置情報・個別情報	「で」「あと」	多い

1) 文と文の接続

- ・ 「指定情報」「共通情報」は、伝達項目があらかじめ決まっていますから、文と文をつなげる言葉は使わなくても問題ありません。

例： 血圧は40台。ハートレットは90台です。

- ・ 「処置情報」「個別情報」は、「で」や「あと」等を使いながら、文を続けましょう。前の文とのつながりもわかって、伝わりやすくなります。

例： 10時に座薬を渡しています。で、昨日ね、肩の関注（かんちゅう）をされているところが痛くてたまらないと言われてました。

2) 患者の状態を表す表現「～ている」

- ・ 「共通情報」以外の情報を伝えるときは、「～ている」を使って、患者さんの状態を伝えましょう。
「点滴、現在最後の1本いっています」のように「続けている」という意味ではないときも、「～ている」を使って表現することができます。

例： 目が見えにくいことを言われています。

今日の昼に嚥下ジェルが始まったんですけど、むせなくて食べられています。

★患者 A さんの申し送りを考えてみましょう。

★★次の患者 B さんの申し送りを考えてみましょう。

患者 B さん

- ・ 左胸がずっと痛かったが、今は大丈夫。
- ・ 血圧 120 台。
- ・ 熱 36 度。
- ・ パルス 95～97%。
- ・ O₂は 0.5L。
- ・ 食事は全部食べた。

！話す時の注意！

文は最後まで言いましょう。「～なんですけど…」と言うように途中で止めては伝わりにくいです。

コラム

「～してください」は生意気？

先輩の看護師に向かって「点滴を 16 時に交換してください」と言うことは、失礼にならないかと心配ではありませんか？ですが、申し送りは患者の情報を伝えるだけでなく、次の勤務帯での処置についての指示を行うこともあります。そのようなとき、「お願いします」がとても便利です。

先ほどの場合、「点滴は、次、16 時交換となっていますので、お願いします」と言えば、失礼な感じも減ります。「～のでお願いします」は便利な表現ですので、ぜひ使ってみてください。